

有料オプション検査申込書（全額自己負担）

※検査を希望される方は、申込者欄の「太枠内」をご記入のうえ、健康診断受診の際にお持ち下さい。

※希望する検査の「申込み」欄に「○」を記入し、「オプション料金合計」欄へ合計額を記入してください。

※料金は、有料オプション検査受付にて健康診断当日に徴収し、領収書をお渡します。

※後払いはできません。できるだけ、おつりのないようにご準備ください。コード決済、クレジットカード使用できます。

※過去にピロリ菌陽性を指摘されたことがある方は、胃がんマーカー（ABC分類）の受検をご遠慮ください。（日本ヘリコバクター学会からの注意喚起あり）

ピロリ菌陽性を指摘されたことがある方は除菌治療を受けてください。ピロリ菌除菌後の胃がん検診には内視鏡検査を受けてください。

※なお、職員健康診断において法定外項目であるオプション検査については、教職員の健康の保持増進のため実施することとしており、健診の実施に際して

取得した個人情報は、健診の実施業務の範囲内で利用いたしますので、同意の上、お申し込みください。

腫瘍マーカー検査について詳しくはこちらを参考にしてください。

国立研究開発法人国立がん研究センター がん情報サービス
https://ganjoho.jp/public/dia_tre/inspection/marker.html



保健管理センター内科医師が結果を確認、保存することに同意します。

| | | | | | | |
|-----|------|--------|-------|------|-------|--|
| 申込者 | フリガナ | | 所属 | | カルテ番号 | |
| | 氏名 | | | | | |
| | 生年月日 | S H | 年 月 日 | 内線番号 | 血液番号 | |

職員健康診断 有料オプション検査

| 検査項目 | 検査内容 | 料金(税込み) | 申込み |
|------------------------------|-------------------------|---------|-----|
| 胃がんマーカーセット (ABC分類) | ペプシノゲン | 3,600 | |
| | ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG | | |
| 腫瘍マーカーセット (男性用) | PSA CEA AFP CA19-9 | 5,600 | |
| 腫瘍マーカーセット (女性用) | CA125 CEA AFP CA19-9 | 5,600 | |
| 前立腺がん検査 | PSA | 1,600 | |
| 卵巣がん検査 | CA125 | 2,100 | |
| CEA検査 | CEA | 1,600 | |
| 肝線維化マーカー | M2BPGi | 3,600 | |
| 心機能マーカー | NT-proBNP | 2,100 | |
| 甲状腺ホルモン検査 | FT3 FT4 TSH | 4,100 | |
| sdLDLコレステロール (超悪玉コレステロール) 検査 | sdLDL-C | 3,600 | |
| オプション検査合計 | | | 円 |

| 検査項目解説 | |
|---|--|
| <ABC分類> 2種類の検査を組み合わせることによって、胃がん発生のリスクを調べる方法です。 | 胃粘膜の健康状態(萎縮)を客観的に調べる検査です。 胃・十二指腸潰瘍や胃がんの原因となるヘリコバクター・ピロリ菌の感染の有無を調べる検査です。 |
| PSA | 前立腺に特異性の高い腫瘍マーカーで、前立腺がんの発見や経過観察に有用です。前立腺肥大や前立腺炎で上昇することもあります。 |
| CEA | 大腸がんをはじめとする消化器がん、肺がん、膵がん、乳がんなどさまざまな臓器由来のがんで上昇する腫瘍マーカーです。喫煙や糖尿病、肝硬変で上昇することもあります。 |
| AFP | 主に肝細胞がんで高値となる腫瘍マーカーです。また、肝炎や肝硬変・妊娠でも上昇がみられます。 |
| CA19-9 | 膵がんをはじめ、胆道がん、大腸がんなど各種消化器がんで上昇がみられる腫瘍マーカーです。その他、膵炎や肝炎、胆石などでも上昇する場合があります。 |
| CA125 | 主に卵巣がんで高値となる腫瘍マーカーです。その他、子宮がんや子宮内膜症・月経中や妊娠初期などでも上昇します。 |
| M2BPGi | 肝臓の線維化(硬さ)の進行を調べる検査です。主にアルコールの摂取や糖尿病が原因とされる脂肪肝や、アルコールを摂取していないのに生じる非アルコール性脂肪肝を放置すると、肝臓の線維化が進み一部は肝硬変や肝臓がんを発症することがあります。 |
| NT-proBNP | 心臓機能が低下して心臓の負担が大きくなるほど(その重症度に応じて)血液中に多く分泌され、数値が高くなります。 |
| FT3 FT4 TSH | 甲状腺で作られる甲状腺ホルモンの量を調べる検査です。 |
| sdLDL-C | sdLDLが多いと動脈硬化を起こしやすいことから、動脈硬化リスクを評価することが可能です。血液中に長くとどまりやすい上に、通常のLDLより小さいので、血管壁の中に入り込みやすく、酸化しやすい性質を持っています。 |